

A6670 東武9000型・量産車 基本6両セット

予価:26,400円(税別)

JANコード:126141 カートン内入数:12

A6671 東武9000型・量産車 増結4両セット

予価:18,600円(税別)

JANコード:126158 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1981(昭和56)年、東武鉄道では新型の通勤電車9000系を登場させました。9000系は東武鉄道では初めての10両固定編成、オールステンレス製車体、チョップ制御を採用した意欲的な設計で、2面折妻の前面の周囲にはFRPで額縁状の装飾が取り付けられ、上下2段に組み合わせられた前照灯・尾灯、片側に寄せられた貫通扉とともにアクセントになっています。車体腰部には当時優等車両などに用いられていたマルーンの帯が入れました。1987(昭和62)年、東武東上線と地下鉄有楽町線の直通運転開始に伴って10連6編成の量産車が増備されました。試作車の基本構成を踏襲しつつ、パンタグラフの半減、チョップ素子冷却方法の変更による低騒音化、側面行先表示器の移設、座席寸法の拡大などの細かな改良が行われました。1991(平成3)年に増備された1編成は車体がビード仕上げで外観が異なるほか、1994(平成6)年の有楽町線新線開業に伴い、制御方式をVVVFインバータに変更するなどした9050系が登場するなど、さまざまなバリエーションがあります。

2007(平成19)年より、地下鉄副都心線への直通運転に対応するための大規模な更新工事を行った車両が登場してイメージを一新しました。

商品概要

- ・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

ステンレスボディにマルーンの帯



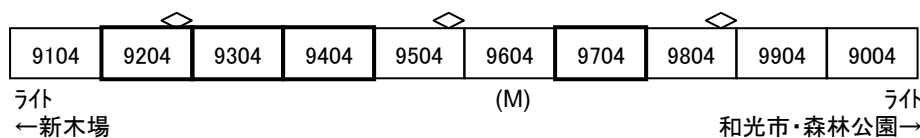
- ・前面ワイパーが銀色の姿
- ・弱冷房車表示が貼付けられる前の姿

東武鉄道株式会社商品化許諾済

編成図

A6670

A6671



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール